

参 考 資 料

1	E S Dユネスコ世界会議	P 1
2	E S D（持続可能な開発のための教育）実践事例	P 2
3	他県のグローバル人材育成のための特色ある取組.....	P 3
4	あいち国際戦略プラン（概要）.....	P 4

ESDユネスコ世界会議

国連は、「ESD」の活動を積極的に行う期間として、2005年～2014年までの10年間を「国連ESDの10年」としています。

その最終年にあたる2014年の秋に、10年間の各国の「ESD」の取組や成果などを取りまとめる世界会議が愛知・名古屋で開催されます。

ESDとは

◆ 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育

環境、貧困、人権、平和、開発といった、現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そして、それにより持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動のことです。

ESDは、Education for Sustainable Development の略。

持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議

開催日程	平成26年11月10日(月)～12日(水) (閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合) 11月13日(木)には、日本国内の関係者によるフォローアップ会合を開催
参加者	国内外からの閣僚級を含む約1,000人規模
目的	「国連持続可能な開発のための教育の10年」の活動を振り返り、2014年以降の方策についての議論を行う。

ユネスコスクールとは

ユネスコ憲章に示されたユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校です。世界180以上の国・地域で9600校以上のユネスコスクールがあります。

日本の加盟校 647校 (平成25年11月現在)

愛知県の加盟校 54校 (平成26年1月28日現在)

幼稚園1校、小学校33校、中学校13校、高等学校5校、
中高一貫校1校、大学1校

” 申請校 31校 (平成26年1月28日現在)

小学校19校、中学校5校、高等学校6校、特別支援学校1校

ユネスコスクールはESDの推進拠点です。

ユネスコスクール加盟の意義

- ・新しい価値観を持ち、行動できる児童生徒の育成
- ・国内の連携強化・国際交流の機会の増大



E S D（持続可能な開発のための教育）実践事例

小学校

東浦町立緒川小学校

単元テーマ 「国際人になろう」(6年)

～「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」への参加～

【取組内容】

- ① 異文化について事前学習
- ② 海外のパートナー校（H25年度はオーストラリアの小学校）とインターネットにより交流
- ③ 共通テーマで協働学習（お互いの学校を紹介しあうなど）
- ④ 両校が半分ずつ絵を描いて1枚の壁画を完成

【効果】

- ① 異文化理解、自国文化理解の促進、コミュニケーション能力の育成
- ② 連携、責任、他者との協力、未来を予測し計画を立てる力の育成

※ アートマイル壁画プロジェクト

壁画の制作とその展示により世界の調和と平和のメッセージを世界に発信するプロジェクトとしてアメリカでスタートした事業（以下は緒川小の作品「日本の宝」）



中学校

豊田市立藤岡南中学校

校訓 「ともに生きる」

～ 誰かのために・何かのために、一緒に何ができるのか「EVA PROGRAM」(共生プログラム) ～

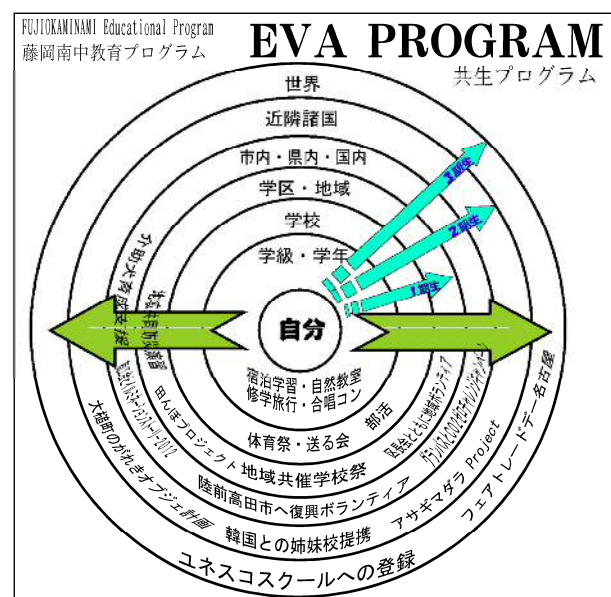
【取組内容】

自分と他者との関わりについて、各ステージで段階的に経験

- ① 学級・学年・異学年（自然教室等）
- ② 学区・地域のコミュニティ（地域合同防災演習等）
- ③ 市内・県内・国内の企業・団体（東北復興支援ボランティア等）
- ④ 近隣諸国（韓国の中学校との姉妹校提携、交流）
- ⑤ 世界へ（フェアトレード・地雷撤去支援等）

【効果】

- ① どんな相手でも理解できる経験・心情、知識と思考パターンの育成
- ② コミュニケーションをとり、目標に向かって力を合わせ成果を出す技能・態度の育成



高等学校

愛知県立豊田東高等学校

校訓 「敬愛」

新学習指導要領を踏まえた総合学科におけるE S Dの体系的な推進及び各教科等における効果的な指導と評価の在り方に関する研究（国立教育政策研究所研究指定事業）

【取組内容】

- ① 「環境教育」
矢作川とその上流の保全、せせらぎ公園の整備等
- ② 「国際理解教育」
オーストラリアパスコベール女子校との相互訪問、マレーシア修学旅行でのチェラス中等学校との交流
- ③ 「地域連携教育」
地元商店街や豊田市商工会議所の主催する「まちづくり」事業へ積極的に参加

【効果】

地域に出向き、地元を活性化する活動に取り組むなど、社会貢献への意欲とともに主体的に問題を解決する力の育成につながっている。

矢作川でのカワヒバリガイ（外来生物）調査



他県のグローバル人材育成のための特色ある取組

都道府県名	平成 2 5 年度の取組（高校生を対象としたもの）
茨城	<p>ディベート・チャレンジ... ディベート活動を英語の授業へ導入する実践研究校や、「英語で行う授業」のモデル校の指定，ディベート県大会の開催</p> <p>英語活動お助けキャラバン...県で雇用する外国語指導助手（ALT）の長期休業中の高等学校等への派遣</p> <p>茨城県高校生国連グローバルセミナー...国連大学における国際問題に関する講義，国連職員によるキャリアセミナー，留学生との懇談会</p>
埼玉	<p>埼玉版白熱教室・・・高校生約200名が参加しての講演と討論</p> <p>県立高校海外派遣プログラム・・・県が選抜してハーバード大学等への短期派遣</p> <p>海外大学等短期派遣事業・・・各学校単位での1～2週間程度の海外大学訪問への支援</p> <p>教員の海外派遣・・・教育の先進的な取組みの視察のための短期派遣</p>
東京	<p>次世代リーダー育成道場（年間200人を長期海外留学に派遣）</p> <p>海外派遣前の事前研修を実施し、広い視野や海外で通用する高い英語力、使命感や世界に飛び出すチャレンジ精神等を育成した上で、高校在学中に海外に留学させる都独自のプログラム「次世代リーダー育成道場」を開設し、我が国の次代を担うたくましいリーダーを都立高校から輩出していく。</p>
大阪	<p>グローバルリーダーズハイスクール（GLHS）支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力診断共通テストの実施...生徒の学力診断と教員の指導点検に活用 ・国際科学オリンピック対策勉強会の開催
兵庫	<p>西オーストラリア州への教員長期相互派遣（1年間）、管理職交流（8日間）</p>
岡山	<p>グローバル・サイエンス・OKAYAMA（GSO）...理・工・農・医学系の大学を卒業した外国人講師等を県立学校に配置</p>
広島	<p>全校姉妹校提携締結に向け，未締結校における提携に向けた助言を行うとともに，提携に必要な経費を支援</p> <p>提携後の交流を活性化させるためのWEB会議システムの整備</p> <p>留学相談員の配置（留学の意義やメリットについて，周知・理解の促進を図るとともに，学校，保護者，生徒からの相談に随時対応）</p>
佐賀	<p>団体海外研修旅行助成事業</p> <p>10人以上の生徒を対象に海外研修旅行を実施する高校又は教育研究部会に対し、1団体あたり50万円（生徒1人あたり5万円）を限度に助成。</p> <p>世界にはばたく未来のスペシャリスト派遣団</p> <p>農業や服飾等のスペシャリストを育成するため、県内の高校生を海外に派遣（H25.9.28～10.5、オランダ・ベルギー）</p>
長崎	<p>語学を活かした「おもてなし」インターンシップ支援事業...中国語・韓国語を学ぶ県内高校生を対象とした1週間のインターンシップの実施</p>
沖縄	<p>グローバルリーダー育成短期海外研修事業</p> <p>アメリカ高等教育体験研修...高校生50名を3週間アメリカの大学へ派遣 海外サイエンス体験短期研修...高校生25名を2週間オーストラリアへ派遣</p> <p>中国教育交流研修...高校生20名を2週間中国上海へ派遣</p> <p>沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラム...高校生80名を1週間程度シンガポール、台湾へ派遣</p> <p>沖縄県高校生海外雄飛プロジェクト...高校生25名を3週間米国ハワイへ派遣</p> <p>専門高校生国外研修事業...専門高校生25名を1週間台湾へ派遣</p>

あいち国際戦略プラン（概要）

～ アジアの活力を取り込み世界と闘えるあいちを目指して～

あいち国際戦略プランとは

策定の趣旨

- ・ 現行の「あいちグローバルプラン（平成20年3月）」策定後、リーマンショックをはじめ、円高、アジア諸国の急速な発展、ヨーロッパでの信用不安、領有権に関連した隣国との関係悪化など、グローバルプラン策定時には想定していなかった状況が多数発生。
- ・ このように、急速に変化する国際情勢に対応し、実効性のある施策を推進するため、現行プランに替わる「あいち国際戦略プラン」を策定。

計画期間
平成25年度～平成29年度

あいち国際戦略会議
学識者、政府関係機関、企業などの有識者10名からなる会議を設置して検討。

愛知県を取りまくグローバル化に関する情勢

若者の内向き志向
日本人の海外留学人数

2004年(ピーク時)	82,945人	5年で27.8%減
2009年	59,923人	

日本人の低い英語力
TOEFL 国別ランキング

世界163か国中	135位
アジア30か国中	27位

訪日外客数（2011年）

全国	622万人	国籍別（全国・上位10か国）：韓国、中国、台湾、米国、香港、豪州、タイ、英国、シンガポール、カナダ
うち愛知県訪問者数	54.7万人	

外国人留学生（2011年）

全国	138,075人	国籍別（愛知県・上位6か国）：中国、韓国、ベトナム、台湾、マレーシア、インドネシア
うち愛知県	6,706人	

輸出入（県内貿易港） 県内企業の海外進出の地域別割合

地域	輸出入（県内貿易港）		県内企業の海外進出 (2011年末)
	輸出 (2011年)	輸入 (2011年)	
アジア	39.4%	51.8%	62.4%
うち中国	16.8%	28.5%	29.8%
うちアセアン	12.1%	15.3%	21.4%
北米	22.7%	8.8%	15.4%
欧州	18.6%	14.2%	14.2%

目指すべき あいちの姿

**国際的に活躍できる
国内外の高度人材が
集積する あいち**

- ・ 世界共通語である英語力のレベルが高い。
- ・ 国際的なビジネス、学業などで活躍しているグローバル人材が多数。
- ・ 優秀な留学生在が卒業後、海外展開の即戦力として県内企業で活躍。

グローバル化に対応した産業活力ある あいち

- ・ アジア地域の活力を取り込みながら、県内企業がグローバルに活躍。
- ・ 県内製品や農産品が高く評価され、海外で幅広く取引。
- ・ 外資系企業の立地が進み活力がみなぎる。

イメージアップが進み、国内外に多数のファンがいる あいち

- ・ 地域全体で外国人を受け入れる雰囲気醸成。
- ・ 地域の魅力づくりが進み、海外で高い認知度。
- ・ 多数の外国人が訪れ、国内外に多数のAICHIファン。

アジアの諸地域と互惠関係で結ばれる あいち

- ・ アジアの主要な国・地域とパートナー関係を構築。
- ・ 海外諸地域と地域特性を活かす連携・交流事業が盛んに行われ、双方の地域に活力を生み出す。

戦略と施策

<p style="text-align: center;">国際人材戦略</p> <p>日本人の若者をグローバル人材として育成 外国人高度人材の受入拡大と活用</p>	<p style="text-align: center;">産業グローバル戦略</p> <p>県内企業の海外進出の支援 海外販路開拓の支援 外資系企業誘致の促進</p>	<p style="text-align: center;">魅力AICHI戦略</p> <p>魅力AICHIのバックボーンづくり 外国人来訪者とあいちファン 増加を目指す 魅力発信</p>
<p style="text-align: center;">アジアパートナーシップ戦略</p> <p style="text-align: center;">アジアの活力を取り込むパートナー関係の構築</p>		

成長著しいアジアの活力を取り込む

推進体制

